

＜ 地理歴史 ＞科 学習シラバス

| 科目 | 日本史A | 学年・類型 | 3年生I型 | 単位数 | 3単位 | 教科書 | 高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来 (第一学習社) |
|-------------|--|--|---|---|-----|-----|--------------------------------------|
| 学習の到達目標 | | 我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 | | | | | |
| 評価の観点 | A 関心・意欲・態度 | B 思考・判断・表現 | C 資料活用の技能 | D 知識・理解 | | | |
| 評価の内容 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。 | | | |
| 評価の方法 | ・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 | ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 | ・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取組状況 ・ノート等 ・定期考査 | ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 | | | |
| 学期 | 月 | 単元名・小単元名 | 学習の指導内容 | 評価の観点 | | | |
| | | | | A | B | C | D |
| 1 学 期 | 4 | 第1部 私たちの時代と歴史 ・私たちの時代 ・日本のあゆみ 第2部 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 | ・自分自身の経験と関連させながら1990年代以降の社会の様子を理解する。 ・外食産業を手がかりとして、日本人の食生活を時代背景と関連させながら理解する。また、日常の話題の中から興味関心のあるものを題材として、みずからテーマを設定して情報の収集や調査を行う。 ・江戸時代の日本の対外関係や、産業、教育・学問などの発達について理解する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 | 第2節 明治維新 第3節 近代国家の確立 | ・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 ・開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを学ぶ。 ・明治時代の諸制度が、国家主導のもと進められたことを学習する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおり、国民の政治的関心が高揚する中で憲法制定・国会開設に至る一連の動きを学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 6 | 第4節 対外関係の変化 第5節 政党政治の展開 | ・この時期に日本の領土が国際的に確定したことを理解するとともに、初期の外交政策が欧米に対しては不平等条約の改正、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを学習する。 ・日清・日露戦争の経緯と結果を理解するとともに、その影響について考える。 ・明治後半から大正期において、国内的に政党政治が展開したことを理解する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 8 | 第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 第1節 近代産業の発展と社会運動の展開 第2節 国民生活の変化と文化 | ・日清・日露戦争の過程で日本に産業革命がおり、資本主義が確立したことを理解する。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化したことを理解するとともに、それにもなつてさまざまな社会問題が発生したことを学ぶ。 ・国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて考える。 ・国民統制において、教育政策や国家主義的思想が果たした役割について考える。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 10 | 第3節 第一次世界大戦と日本 第4節 第二次世界大戦と日本 | ・第一次世界大戦に日本が参戦した経緯と、大戦が日本に与えた影響について考察する。 ・第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて理解する。 ・第一次世界大戦以後の慢性的な国内不況と、世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握するとともに、日本および各国がその状況をどのように克服していったのかを理解する。 ・軍部の台頭の過程と、これにもなう政治的な状況の変化について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化に着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解するとともに、国民生活がどのように変化したのかを学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 第3部 第1章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 | ・対日占領政策や民主化の諸改革の内容について理解するとともに日本国憲法の制定過程や特徴を理解する。 ・戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 学 期 | 1 | 第2節 独立後の政治と対外関係 第2章 現代日本の国民生活 | ・主権回復に向けての経緯と背景をふまえたうえで、国内政治の推移と外交関係について学習する。 ・私たちが生まれた、成長した時代を学習する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 2 | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3 | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 学習のポイント | | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の板書を確実に書き写し、歴史の流れが理解できるように努力する。 ・復習に用いるプリントを何回も書いて、歴史用語を覚える。 ・過去の歴史と現代を比較させて考える。 | | | | | |